



# 岩美北小学校 太陽光発電設備が完成

岩美町立岩美北小学校の太陽光発電設置工事が、  
8月20日に完成しました。



太陽光発電の最大の利点は、エネルギー源がクリーンであり、CO<sub>2</sub>などの大気汚染物質の発生を抑制できることです。この設備は、環境負荷の低減と、子どもたちが環境問題を身近に感じられるように設置されました。玄関には、発電状況が確認できるテレビモニターを設置しています。モニターでは、1日・1ヶ月単位の発電量を見ることができます。

校舎屋上に設置された太陽光発電装置は、200Wの太陽光パネル96枚を使用し、システム全体で19・2kW相当の発電容量を持つ設備です。校舎の屋上で発電された電力は学校内で使用する様々な電気の約5分の1をまかなうことができます。

また、休日などの電力使用が少ない時間帯は余剰電力を電力会社へ売電することもできます。

## 具体的な発電電力はどれくらい？

- 年間発電量は…約18,760kWh/年
- 照明に換算すると…10kWで発電した場合、40W蛍光灯約250本分に相当します。
- CO<sub>2</sub>削減量は…約5.9トン-CO<sub>2</sub>/年

(※以上の数値は予測によるものであり、気象条件などで変動します。)

太陽光発電設備設置費は約23,000千円で、国の補助金を利用し整備しました。  
今後も環境対策について理解を深め、環境配慮に対する意識の向上を進めます。  
みなさんも、環境にやさしいエネルギーについて考えてみましょう。

## えっ？岩美に 亜熱帯性クラゲ？



があることからそう呼ばれています。  
タコクラゲは、本来九州地方の温暖な海域に生息しているものですが、この猛暑で岩美の海までやってきました。水玉模様が何ともかわいく、「見てると癒される」との声もありますが、生態系がくずれているのは事実。地球の環境を守るためにも、一人一人が環境にやさしいことを心がけ実行していきたいものです。

猛暑が続いた今年の夏。これも地球温暖化が原因でしょうか。9月中旬、網代港、城原海岸などの町内海岸などで、亜熱帯性クラゲが発見されました。その名も「タコクラゲ」。傘の下に8本の足のような口腕